



分流部改築の概要

分流部改築内容

百間川分流部については、百間川への適正な分流と旭川下流地区・百間川全体の治水安全度の向上等に向けた改築に着手し、「一の荒手」については、平成29年11月より工事を進め、このたび工事が完了しました。

〈一の荒手の整備概要〉

- 旭川、百間川の分流比を確保するため、越流箇所を切り下げを実施。
- 一の荒手を挟んで上下流の背割堤の嵩上げを実施。
- 現況が空石積の上下流亀の甲について、練石による補強。
- 越流による洗掘防止のため、護床ブロックを設置。

〈二の荒手の整備概要〉

- 切欠部、天端高とも元の形状を維持する。
- 今後、洪水等により損壊しないよう補強する。

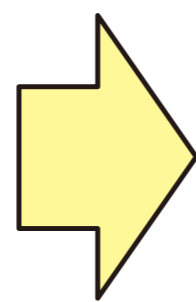
なお、改築実施にあたっては、歴史的遺構である「一の荒手」「二の荒手」等の保存・保全および分流部の周辺環境に配慮しつつ取り組んでいます。

百間川分流部周辺 (H26撮影)



百間川分流部「一の荒手」

百間川分流部「一の荒手」周辺の整備前



百間川分流部「一の荒手」周辺の整備後



一の荒手改築関係工事 巻石部 (亀の甲) の工事

基本方針

■巻石部 (亀の甲) : 保全 (補強) する。

- 江戸時代の建設当時の位置に存在しており、現在も治水機能を有しているため保全対象とする。

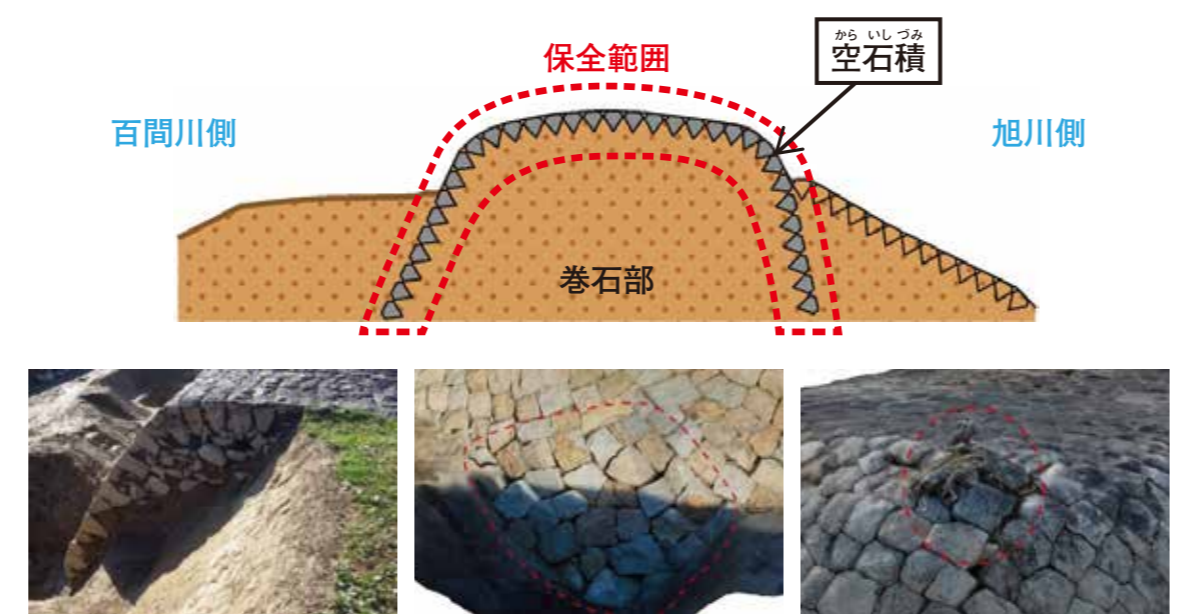
■越流部 : 改築 (補強) する。

- 旭川百間川の分流比を確保するため、越流部の改築補強を実施する。
- 越流部は現在コンクリート張りであり、当時の材料・形状を保っていないため保全対象とはしない。
- 上流前堤部は、旭川側からの水あたりから越流堤の安全を図るため前面に平ブロック設置する。
- 下流根固部は、越流堤からの流水による洗掘防止対策として護床ブロックを設置する。

現状

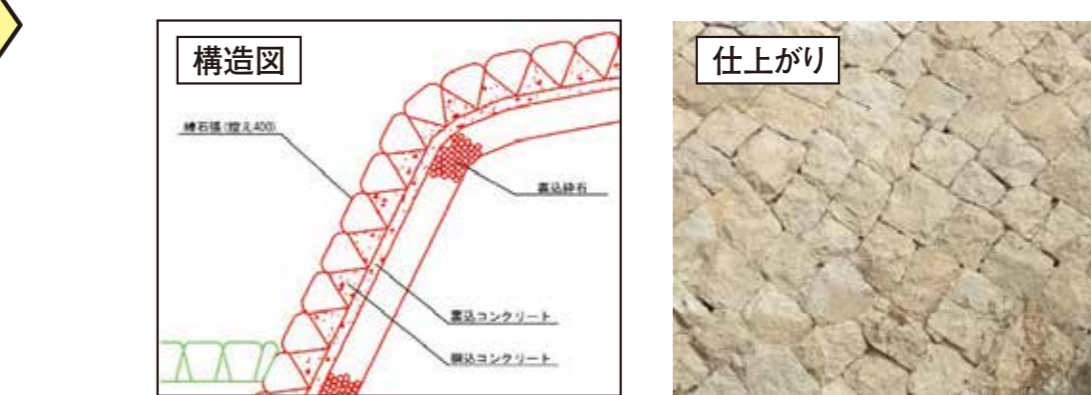
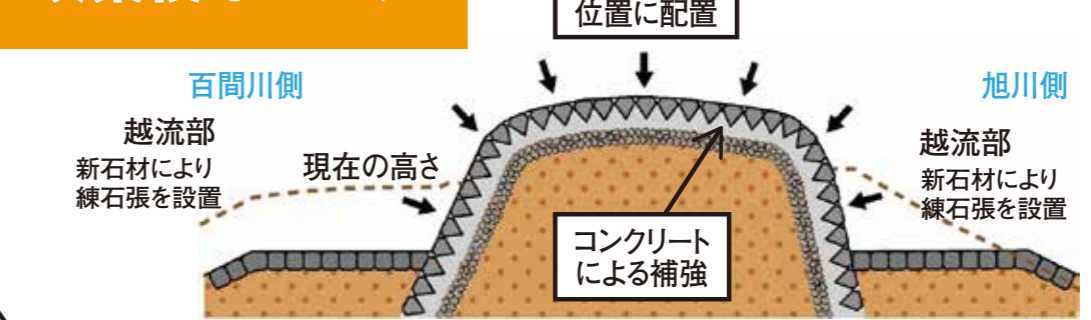
- 巻石部の構造
- 1. 空石積構造
- 2. 空石積の内部は土砂

治水施設として脆弱な構造であり、今回工事にて保全しつつ洪水に耐える治水施設に改築する。



巻石部は空石積 (からいしづみ) 内部は土砂
ユルミが発生 (上流巻石部) 樹木の侵入 (下流巻石部)

改築後イメージ



■練石積 (ねいしづみ) 構造 : 洪水時に破壊されない様、既存の石材を使用しつつ練石積の構造に改築、外観は概ね元の位置に配置する様に仕上げ

百間川分流部「二の荒手」完成

二の荒手現状 (平成29年6月)



オニバス移植の取組

工事箇所周辺に自生していたオニバスから種を採取し、苗を育て、元の位置に戻す移植作業を、地元小学生と一緒にしました。



二の荒手発掘状況 (H28.6)



損傷が激しい二の荒手

二の荒手完成報告会 (H29.7.29)



地域の歴史研究や住民のみなさんと記念撮影

百間川分流部の改築実施にあたっては、歴史的遺構である「一の荒手」「二の荒手」などの保存・保全および分流部の周辺環境に配慮しつつ取り組んでいます。